

第1回教師力ちょっとアップ研修会

先生方の学びの様子をお届けします！【参加者22名】

仲間づくりミニワーク

輪抜き棒落としに挑戦！！



研修会では始めにアイスブレイクを行います。アイスブレイクは、参加者の緊張をほぐし、お互いを知る・理解を深める機会になります。今回は「輪抜き棒落とし」にグループで挑戦しました。「輪抜き棒落とし」は、ペットボトルの口の上に丸い輪を乗せ、その上に小さな棒を立てます。輪を勢いよく引いて、だるま落としのように棒がペットボトルの中に落ちれば成功です。

グループの仲間で声をかけ合ったり、相談したりしながら挑戦しました。成功した時の歓声とハイタッチで会場の雰囲気が温まりました。

みんなで語り合おう 困りごとについて



学校が始まってから約一か月が経ちました。授業を行ったり勤務する上で困っていることを中心に、グループトークをしました。経験年数の長短による違いはありますが、グループから出された困りごとを互いに共感をしながら語り合いました。感想からは「同じ悩みや思いを語り合えて心が軽くなった」「似た思いの人と話ができて、安心感が高まった」という感想がありました。

授業づくりの基礎を学ぶ

指導主事による講義

南信教育事務所 学びの共創課 指導主事から「授業づくりの基礎・基本」について学びました。今回は「子供に何を教えるか・どうやって教えるか」から「子供はどうやって学ぶか」の視点に立ち、子供が生き生きと追究する授業に向けて、どの教科にも共通する授業の構造について考えました。

「つかむ(導入)」「調べる(展開)」「まとめる(まとめ)」の場面で大切にしたいことを授業例を参考に学びました。



指導主事と一緒に考える

授業づくり・日頃の困り感をじっくり



明日からチャレンジする単元構想や授業づくり、または授業における日頃の困り感等を指導主事と懇談しました。グループは同じ教科や同じ困り感を抱えた仲間です。「学校では教科が1人なので、わからないことや困ることも多い。懇談を通して今回それらが解決しそうな見通しがもてた」「授業の組み立て方、アイデア、ICTの活用の仕方など具体的なアドバイスをもらえて勉強になった」という感想がありました。

参加者の声 つながりができた

- ・授業づくりのポイントとして、導入での問いの大切さを改めて感じられる機会になりました。
- ・「問題を見いだす」ことが子どもたちの学習のやる気や理解にもつながることを改めて理解できました。
- ・教員としてと不安と思っていたことを他の先生方と共有できてよかったです。
- ・明るく温かい雰囲気でもなさんとお話できてよかったです。

様々な対話から、新たな気づき、学びが生まれるよう、今後の研修会も工夫していきます。ぜひご参加ください。